

2024

# 同友しずおか4



VOL.545

「入ってよかった」「続けてよかった」「誘ってよかった」「企業も地域もよくなった!」



私の逸品

(有)遠山建設

天然乾燥の天竜材で  
省エネ住宅



静岡県中小企業家同友会



## 中小企業家同友会とは

静岡同友会は1974年に71名の経営者が呼びかけあい、設立されました。約1,100名の経営者が、「経営体制の強化」「経営者の能力向上」「経営環境の改善」をめざし、活動しています。全国各地で開催される全国大会をはじめ、県全体で行う定時総会・全県経営フォーラム、また、経営課題別の専門委員会、県下11支部での活動、行政や関係諸団体との懇談、連携等、多岐に亘る活動をしています。

### 同友会3つの目的

#### 1 よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して企業の自主的近代化と強じんな経営体制をつくることをめざします。

#### 2 よい経営者になろう

同友会は、中小企業が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

#### 3 よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく、社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

- 社長はいつも孤独
- 経営の悩みを相談する仲間ができた
- 経営の成功体験しか聞けない
- 失敗談から勇気とヒントをもらえた
- 目の前の仕事に追われる毎日
- 将来の会社のビジョンができた
- 指示待ち社員ばかり
- 自発的な社員が増えた

その答え、  
同友会にありました。

会 員 募 集 中

経営者同士だからこそ話せる  
悩み、解決へのヒント、将来への展望。  
体験してみませんか？

静岡県中小企業家同友会 TEL/054-253-6130

## ◆静岡同友会 2025年ビジョン 「企業づくり・地域づくり・同友会づくり」

### ◆ 企業づくり ◆

私たちは、関わる全ての人々が「成長」と「幸せ」を実感できる企業をつくります

### ◆ 地域づくり ◆

私たちは、中小企業と地域が手を取りあい、人々の幸せが見える地域をつくります

### ◆ 同友会づくり ◆

私たちは、企業と地域を守る経営者の<sup>きょうじ</sup>矜持と努力を結集し、  
学び・気づき・ワクワク溢れる活動を通して県下1500名会員を実現します

### 新会員のご紹介 (敬称略) 会員数 1099 名

氏名	社名・事業	所属支部	紹介者	氏名	社名・事業	所属支部	紹介者
NAKANO yasuhiko	(有)ナカノデザイン メディアアート作品制作、映像制作、特殊録音制作等	沼津	長岡 善章	すだ けいすけ 須田 啓介	(株)六鴻 保険代理業	静岡	青山 達弘
ふくしま はるお 福島 治男	キャリアデザイン・メンタルサポート(株) キャリアコンサルティング、メンタルヘルスケア、組織の課題解決支援	沼津	井出 敦史	もちづき まさかず 望月 正和	(株)マルマサ工業 左官業	静岡	村松 秀昭
なかむら けんすけ 中村 謙介	ひびき法律事務所 法律事務所	沼津	佐野 雅文	かなもり ゆたか 金森 豊	ゆたか美装 外壁塗装、屋根塗装、害虫ブロック、庭木剪定	志太	寺田亜記子
かみもり けんいち 兜森 兼一	兜森行政書士事務所 行政書士業	富士宮	杉浦 輝	とど ひであき とど 秀明	百々電機システム(株) 電気工事業	志太	坂本 祥彰
さくらい まなぶ 櫻井 学	加和太建設(株) 建築工事業、土木工事業、不動産業、施設運営事業等	富士宮	渡辺 寿彦	そね ほやと 曾根 勇人	(有)オートボディショップロータス 自動車修理、販売	志太	寺坂 磨
わたなべ まさや 渡邊 雅也	(有)富士美装 一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、処理業	富士宮	吉村 隆	ななみ わたる 名波 航	名波防水 防水工事	榛南	久保 佳通
わかさ ひであき 若狭 秀明	Car DetailingSpot NoName カーコーティング	富士宮	磯辺 嘉将	やまもと しんべい 山本 潤平	社会保険労務士事務所みとら経営 社会保険労務士業	榛南	鈴木 徹
おおさわ かつのり 大澤 勝則	(株)BuildEast 建築物施工全般	静岡	石澤 浩一	いしかわ たいご 石川 泰吾	(株)豊榮製作所 プレス板金加工、スポット溶接加工、金型製品検具加工	中遠	杉村 悠介
おおたき いっせい 大滝 一成	旭工業(株) 解体工事業	静岡	遠藤 良二	まぶら ゆういち 馬淵 裕一	IT経営サポート 経営コンサルタント(IT支援、経営支援、セミナー)	浜松	江間 省豪

### 名義変更による新名義人 (敬称略)

氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人	氏名	社名・事業	所属支部	旧名義人
さの ともひろ 佐野 智弘	(株)カクイチ 静岡営業所 ハウスマシナ、ホース事業、ホテル事業、太陽光発電事業 他	沼津	板倉 佳男	もり かずなお 森 一直	山本電機(株) 製造業 (制御盤設計、製造、修理)	榛南	森 美和
なるせ あきのぶ 成瀬 晃伸	島田掛川信用金庫 金融機関	志太	鈴木 康司				

※新会員の写真はe.doyu「ユーザ名簿」に掲載します。e.doyuからのご確認をお願い致します。



# 天然乾燥の天竜材で 省エネ住宅

(有)遠山建設 (浜松支部)

代表取締役 遠山 光典氏



乾燥熟成天然乾燥材

## 身近な工務店として

### 事業の経緯

(有)遠山建設は、昭和46年に大工であった先代の遠山春光氏が(有)遠山建設を創業し、昭和57年に(有)遠山建設を設立。その後、平成14年より遠山光典氏(現代代表取締役)が引き継いでいます。創業から一貫しているのは「安心」を創りあげることです。そもそも、人が生きていく上で欠かせないのが「衣・食・住」です。これらのうち、「住」の担い手であるからこそ、引渡までだけでなく、引渡後のお付き合いも重要と考えているといいます。そのため、新築だけでなく、建て替えやリフォームなどの際に、お客様の様々な疑問や不安な点を解消し、こうしたいという希望などをかなえるために、

細かな相談にも応じており、地元で信頼を獲得し続けています。天然乾燥の天竜材へのこだわり逸品への思い

元で信頼を獲得し続けています。天然乾燥の天竜材へのこだわり逸品への思い

### 天然乾燥の天竜材へのこだわり逸品への思い

「木は育った場所で使うのが理想、環境にもいい」と遠山氏は語ります。つまり、遠く外国から輸入すれば、その運搬のための燃料がかかり、排出される温室効果ガスが増えるとのこと。さらに、地元の木材を使うということは山の豊かさにつながり、川や海を豊かにすることにも繋がると話します。木材を使用するということは必然的に植林を行う必要が出てきます。植林が進むと養分が川に流れ、川から海に流れ出る、そのサイクルが生まれまます。また、山が豊かになると鉄砲水を防ぐなど災害の抑制にも繋がるなど、地元の木材を活用することには多くの利点があります。(有)遠山建設では、

地元の天竜材、それも天然乾燥の天竜材による木造建築に力を注いでいます。天然乾燥の天竜材は、他の木材に比べ粘りがあり、耐震面で強度が高いため、構造材として適しています。また、伐採の時

建材の説明の様子



地元の天竜材、それも天然乾燥の天竜材による木造建築に力を注いでいます。天然乾燥の天竜材は、他の木材に比べ粘りがあり、耐震面で強度が高いため、構造材として適しています。また、伐採の時

期にも旬があるそうです。天然乾燥の天竜材の切り旬は秋から冬にかけて。そうして伐採された木材を天日干しし、乾燥、熟成させるといふ昔ながらのやり方でいうと、水分、養分が少なくなると腐りにくく、かびにくくなるのだそうです。また、木に含まれる樹脂によってシロアリを寄せつけず、光沢感のあるツヤをもち、香りが強く出ると、天竜材の魅力が話します。

### 天然乾燥の天竜材を広く知ってもらうために

#### 今後の展望と同友会活動

前章のような天然乾燥の天竜材の良さを伝えるために、現在、同氏はYouTubeに「遠山建設」のチャンネルを開設し、伐採や乾燥の模様の動画をアップロードしています。それに加えて、製材所と協力し、製材工程の見学会も開催しているとのことです。

また、同友会での活動についても「他の会に



(有)遠山建設 YouTubeチャンネル



完成した木の家

参加していないため、他の企業の活動を「知りたい」と言います。そして、いろいろな意見を聞き、経営の勉強としていきたいと、今後についての意気込みを聞かせていただきました。

取材・記事：大杉卓也氏  
(大杉卓也行政書士事務所・浜松支部)

### (有)遠山建設

〒434-0017 浜松市浜名区豊保286-11

TEL：053-588-3602

URL：https://www.tohyamakensetsu.com

創立 1971年

社員数 2名

入会年月 2024年1月

事業内容 建設業(注文住宅、リフォーム、施設工事)

「三方よし」実現をめざして

（地場産業を支える3代目）

(有)豊富製作所

代表取締役 内藤 武彦氏（中遠支部）



内藤氏と工作機械

磐田市といえば輸送機器メーカーや関連企業が数多い地域として知られていますが、磐田市に拠

点を置く(有)豊富製作所はそのような企業の開発・生産ラインを支える省力化機械や治工具を設計から

製作まで一貫しておこなう、1980年創業の会社です。今回の会員訪問記では、代表取締役の内藤武彦氏にお話を伺いました。

家業を継ぐことは宿命であった

同社は、金型製作に従事していた内藤氏の祖父 内藤茂雄氏が独立後、1980年に金属加工業として創業した会社で、その後は父内藤喜義氏の代表を経て内藤氏で三代目となります。もともと内藤氏は家業のことを意識せず、美容系の専門学校に進学。卒業後もその知識と技術を活かして東京都で同種の職業に就いていましたが、5年ほど経った2005年、ふと地域を支える家業のことを思い出し、帰郷して同社に入ることを決意しました。当時のことを、内藤氏は「それでもいつかはこうなる宿命だったのだろう」と振り返ります。

学生時代や前職とはかけ離れた業界とはいえ、幼い頃から慣れ親しんできた家業での仕事は充実しており、製造現場での設計から金属加工、治工具の製作の機械の組み立てまでエンジニアとして全ての業務にあたっていましたが、14年ほど経過した2019年、先代から「そろそろ会社の代表になったらどうか」との提案で転職が訪れます。

「三方よし」を理念に掲げる

折しも、地元商工会で事業承継のフォローアップ制度が整っていたことから申請、磐田市産業政策課や中小企業診断士からのバックアップを受けながら半年間ほどじっくり時間をかけて先代と話し

合い、役割を引き継ぎました。その中で内藤氏は、江戸時代中期に近江商人が掲げた『三方よし』という理念に辿り着きます。

一般的には『売り手よし 買い手よし 世間よし』が三方とされていますが、内藤氏はさらに『自分よし 相手よし みんなよし』も掲げて『三方よし』を経営理念とし、2020年2月に晴れて三代目の代表取締役となります。

同友会で経営の本質を追求し実践に繋げる

代表への就任以降、経営者とエンジニアの二つを軸にいわゆるブレインゲーマネージャーとして尽力する日々が続きますが、従業員の確保や技術・知識の継承をはじめ、経営者としてのさまざまな苦悩も訪れます。経営者同士の本音やテクニカルなことを語り合える機会を切望していた内藤氏は、中遠支部の例会へオブザーバー参加した後、2023年9月に入会。支部メンバーとともに経営に対する本質の追求と学びの実践に励んでいます。



加工作業の様子



洗練された技術力

(有)豊富製作所

〒438-0804 磐田市加茂1238

TEL : 0538-34-4816

URL : <https://ho-fu.co.jp>

創業 1980年

社員数 13名

入会年月 2023年9月

事業内容 専用機・省力機器・治具、設計製作

現在の景況として、設備投資への差し控えや円安・原価高騰などの低調な外的要因が続く中、「製造業界内でいかにして淘汰されずに生き残れるか。『三方よし』の経営理念に基づいて付加価値を追求し、従業員とともにお客様満足以上の予想を超えるものを発信していきたい」と語る内藤氏。社員に気さくに声をかける姿からも、同社の今後の飛躍が期待されます。

取材・原稿：兼古 東浩治氏

(株)アイリス・中遠支部

## 第54回中小企業問題全国研究集会in三重

# 「結束・加速・REBORN」理念実現 のため激動時代の潮流に乗れ」

3月7日(木)～8日(金) 三重県総合文化会館 他

3月7日(木)～8日(金)に中小企業問題全国研究集会(以下、全研)が三重県津市で開催されました。テーマは「結束・加速・REBORN」理念実現のため激動時代の潮流に乗れ」。当日は47同友会と中同協から総勢1145名が参加、静岡同友会からは31名が参加し、分科会や記念講演を通して学びを深めました。



記念講演

1日目の分科会では、「地域資源の活用」のテーマで第9分科会に静岡同友会から松葉秀介氏(松葉倉庫株)・代表理事/志太支部)が報告者として、事務局長の秋山啓希氏が座長として登壇しました。(分科会の様子は次ページで紹介します)

2日目の全体会では開催地を代表して西村信博三重同友会代表理事があいさつ。続いて主催者を代表して広浜泰久中協会会長来賓として一見勝之・三重県知事、前葉泰幸・津市長が登壇しあいさつしました。その後、1日目の分科会を代表して3つの分科会の座長から分科会での学びと実践に向けた決意が共有されました。

### 記念講演「食とDXによる地方創生」

立花 哲也氏(株)アクアイグニス/ヴィンソン多気(株) 代表取締役

立花氏は、国内の地方が抱える少子高齢化の課題に対し、「食」と「デジタル」をテーマに「伝統」と「革新」を融合させた新しい地域経済の活性化に取り組んでいます。若者の人口流出が進み、近隣に伊勢神宮など有名観光地があるものの観光客が少

ない地域であった三重県多気町に「未来まで残る唯一無二の施設をつくりたい」と地方創生プロジェクトを立ち上げ、大企業や行政とも協力しながら2021年に複合商業リゾート施設「VISION多気」をオープン。この施設では地域の自然資源である薬草を活用した健康施設や日本の発酵文化を体験できる蔵、産直マルシェなどが誇る食や文化を楽しむことができます。コロナ禍のオープンとなりましたがSNSで話題を呼び、年間来客数100万人を達成、地域の観光客数を2倍に増やしました。また、他市町と広域連携しながら「美村」デジタル田園都市国家構想に取り組み、デジタル地域通貨の導入など地域住民にとっても便利で魅力的なまちづくりを行っています。

多気町のほかに仙台や淡路島でも複合商業施設をオープンしており、立花氏は今後の展望として「夢と情熱をもって、各地に、そして世界にアクアイグニスモデルを広げていきたい」と語りました。

最後に中山英敬中協幹事長より二日間の学びをまとめ「時代の転換期にある今、社会課題を自社の課題として取り組み、全社一丸となって企業変革を進めていきたいと思います」と締めくくりました。

★次ページに松葉秀介氏が報告した第9分科会の概要を掲載しています！

(参加者感想)

片野浩一氏(有)弥生製作所・沼津支部)

### 第5分科会

「自社の強みを磨いていますか？経営理念をつくって見えてきたこと」

「私たちは、えひめの麦みそ文化を、伝承・発展させます」との経営理念を掲げ、創業70周年となる義農味噌(株)。ここ数年は原材料高騰が続いており、利益減少に苦しむものの、値上げすると注文減少となり、悪循環に悩まされていたといいます。

それまでは「社長が何とかしなければ」と商品開発を社長一人で行っていましたが、長続きはしませんでした。そこで、社員に任せてみる決断をしたことが転換期になります。様々なアイデアが生まれ、社員が率先してスーパーでの売込みや新商品開発を行うなど、社内で好循環が生まれていきました。社員に任せたことで、社長の果たすべき仕事が見えてきたと話します。そこから会社が変わることができたのは、社長が「商品開発や戦略は社員に任せる。会議にも口を出さない。足を使い各地に出向き、情報収集し、決断することが社長の仕事」と徹底した姿勢を貫いたからこそだと感じました。報告の中で触れられた、「生き残る」のではなく「勝ち残れ」という先代の言葉は非常にインパクトが大きかったです。

中小企業問題全国研究集会 in 三重 第9分科会  
**「社会・地域・業界の課題を自社経営の燃料に変えて走り続ける物流会社の挑戦！」**

報告者：松葉倉庫(株) 代表取締役 松葉 秀介氏 (県代表理事・志太支部)

「もぐらたたき経営」からの脱却

当社は1972年に父親が創業、藤枝市に本社・本社倉庫をおく物流会社です。現在110名の従業員がおり特に60代以上の方や女性が多く、障害者も活躍しています。焼津・掛川に物流センターがあり、2022年に本社近くの藤枝に新たに物流センターを新設しました。また、2018年に企業主導型保育園「まつの実」を立ち上げました。私は昭和40年にミカン農家の長男として生まれ、45歳の時に社長になりました。

学んで実践するためのオリジナルマップ

同友会で学ぶ中で意識していることは「一つひとつの入口を大切に（何のため、誰のため、どこに向かつてを考える）」「出口からの逆算で考える」「一つひとつを横に繋げて考える」ことです。また、全ての経営判断の入口と出口が経営理念にあると思っています。

同友会でどのように学んで実践するのか、シンプルに、わかりやすくするために、同友会にある「不離一体シート」や自分なりのオリジナルマップを作り、日々の経営判断に生かしています。

未来志向でいることがピンチをチャンスにする

2017年頃のある日、会社に届いた「企業主導型保育園」のチラシ。スルーす



松葉氏

ることもできましたが、地域や自社にどんな課題があるか、どう解決できるかを常に考えていたので「若い人たちが安心して働ける会社するために何かヒントになるのでは」と思い立ち、早速内閣府に連絡しました。社員が出産・育児をしながら安心して働ける会社にするには、我が社だけでなく近隣の中小企業にとっても同じ課題はずだと感じ、挑戦することを決めました。様々な業界課題や社会課題に対応すべく2022年に物流センターを新設した時は、コロナ禍と重なりましたが、苦しい時に新たな挑戦をすることで社員への前向きなメッセージにもなりました。私たちは常に変化の中にいて、想定外のこと（ピンチ）は必ずやってきます。未来志向でいることがピンチをチャンスにし、不安を課題にしてくれると思っています。

自社が地域の資源となれるように

経営とは、環境変化との共育ちだと思えます。私の中で、同友会は自分の立ち位置や考え方を確認し、少し先を見続ける鏡のような場所。落とし込みの実践をする場所。何をどう学び参考にするかを自身の課題、目標設定の変化に合わせて習慣づける場所

です。社会・地域・業界の課題を自社経営の燃料に変えて走り続けるのが地域の資源となれるよう挑戦し続けます。

経営労働委員会オープン勉強会  
**中小企業の稼ぐ力と自己改革の更なる向上へ向けて**

「夢の実現に向けた『経営指針』と『経営デザインシート』の実践活用」  
 3月19日(火) 同友会事務局&ZOOM

講師に森俊彦氏（一般社団法人日本金融人材育成協会会長）をお招きし、「中小企業の稼ぐ力と自己変革力の更なる向上に向けて」夢の実現に向けた「経営指針」と「経営デザインシート」の実践活用」をテーマに例会を開催。当日は会場、ZOOM併せて26名が参加しました。報告では「なぜ経営デザインシートが必要なのか」「どのように活用するか」を実際に作成し活用した企業の事例をもとに紹介。社員や取引先に現在や未来の事業について共通認識を持つために活用できること。また、社員に事業の理解が進みやすく、何のために取り組んでいるのかを立ち返って考えたり、自社の夢やビジョンを社員と共有しベクトルを合わせたりと、組織力を発揮するために活用できると参加者に伝えました。最後に「中小企業・小規模事業者のビジョン実現にむけて経営デザインシートを活用し実践しよう」とまとめがありました。



オンラインでの講演を聞く参加者

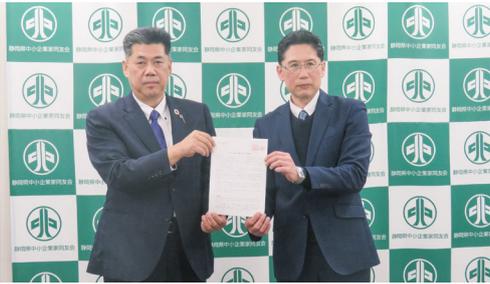


第9分科会グループ討論の様子

**連合静岡との懇談会**  
**経営者・組合双方の立場から**  
**より良い労働環境を考える**  
**3月13日(水) 同友会事務局**

連合静岡から角山会長をはじめ4名、静岡同友会から遠藤会長、松葉代表、塚本副代表、秋山事務局長の4名、計8名が出席しました。連合静岡からの「2024春季生活闘争に関する要請」では、務費の適切な価格転嫁の推進、①賃金改定、②取引の適正化、③誰もが安心・安全に働ける環境整備、④ジェンダー平等・多様性の促進、⑤働くことの大切さや楽しさ、やりがいを実感できる環境づくりに関する要請がありました。

懇談会では、要請でも触れられた労務費の適切な価格転嫁に関する各社の取り組み状況や賃上げの状況、2024年問題に関する各社への影響や対応について同友会から報告。消費者も含めた国民一人ひとりの「価格・価値」に関する価値観を变化させていく転換期にあると共有されました。



要請書を受け取る松葉代表理事 (右)

**公正取引委員会中部事務所との懇談会**  
**労務費の適切な転嫁のための価格交渉**  
**3月14日(木) 同友会事務局**

ここ数年継続して開催している公正取引委員会中部事務所との懇談会を開催しました。公正取引委員会中部事務所からは岡所長はじめ2名がお越しになりました。同友会からは遠藤会長、井上代表、鈴木副代表、伊藤副代表、秋山事務局長、森本事務局主任が同席しました。公正取引委員会の最近の活動状況として、下請法の運用状況や企業間取引の公正化への取り組み、企業向けの各種相談窓口を紹介。加えて、昨年発表された「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」についてもお話しいただきました。続いて行った意見交換では、

同友会からは価格転嫁に関する課題や業界の現状から採用や社員教育に関する取り組みなどを現場の声として伝えました。最後に、岡所長より「公正取引委員会の取り組みを知ってもらうと同時に、現場の声を聞くことができる貴重な機会として、定期的な意見交換していきたい」と挨拶があり、閉会となりました。



中小企業の生の声を届ける

**静岡大学 社会人リカレントセミナー**  
**地域・企業の魅力を再発見!**  
**3月26日(火) 静岡大学**

静岡大学にて社会人向けに行っているリカレントセミナーに静岡同友会より箕成頼代表理事(株アサギリ)、松葉秀介代表理事(松葉倉庫株)、山崎かおり副代表理事(株山崎製作所)の3名が登壇しました。

静岡大学では、「ものづくり県しずおか」経済活性化のためのリカレント教育推進事業を2023年10月にスタート。その一環として、自治体や産業界で活躍する方を講師に社会人リカレントセミナーを開催してきました。静岡同友会と静岡大学は2008年に相互協力協定を締結しており、今回3月26日に行われたセミナーにて、横田宏樹・静岡大学准教授をコーディネーターに3名が地域課題への取り組みや経営実践を講演しました。

まず箕成氏より「地域循環共生圏(ローカルSDGs)に於ける地域と中小企業の役割」をテーマに講演。余剰牛糞を活用した匂いが少ないペレット堆肥の製造・販売やバイオ炭の肥料活用など、広域連携による地域課題の解決、循環型社会の構築への取り組みを話しました。続いて松葉氏より「社会課題を自社の力に変える思考」今、中小企業家に求められる課題変換力」をテーマに講演、社会や地域、業界の課題を自社の共通課題と捉え「地球サイズからの落とし込み、未来からの逆算」をキーワード

に様々な自社での挑戦を話しました。続いて山崎氏からは「オープンファクトリーから考える。中小企業と地域の共創が生み出すもの」とは」をテーマに講演。静岡市でオープンファクトリー「ファクハク」を仲間とともに主催した山崎氏は「静岡がものづくり県であることをもっとPRできれば産業振興にもつながる。また、工場をオープンにすることで社員のモチベーションアップになる」と話しました。

3名の報告の後、横田教授をまじえたパネルディスカッションを行い、地域や中小企業の魅力・課題について語り合いました。横田教授からは「大学が、色々な人が集まる交差点のような場所になれるようこのような学びの場を持ち続けていきたい」と話があり、行政職員から経営者まで幅広い参加者が学びを深めました。



登壇した箕代表(左)、山崎副代表(中央)、松葉代表(右)



静岡県中小企業家同友会 祝50周年記念事業  
NEXT50フォーラム～誰ひとり取り残さない～

2024年11月28日(木)ホテルグランヒルズ静岡にて開催！！  
今からぜひご予約ください！

4月・5月

DOYU CALENDAR

4月16日(火)～5月15日(水)

4月 17日(水)	伊東総会 (18:30 ひぐらし会館) 志太総会 (18:30 小杉苑)
18日(木)	富士総会 (18:00 富士ロゼシアター) 榛南総会 (18:00 うおとも) 中遠総会 (19:00 掛川グランドホテル)
22日(月)	三島総会 (19:00 三島商工会議所)
23日(火)	県広報情報化委員会主催オープン勉強会 (19:10 同友会事務局&ZOOM)
24日(水)	沼津総会 (18:00 沼津リバーサイドホテル)
25日(木)	県理事会 (新旧開催) (15:00 同友会事務局&ZOOM)
30日(火)	総務財務委員会 (16:00 同友会事務局&ZOOM)

30日(火)	県政策委員会 (18:00 同友会事務局&ZOOM) 県例会企画委員会 (18:30 同友会事務局&ZOOM)
5月 8日(水)	御殿場例会 (19:00 エピスクエア) 沼津例会 (19:00 プラサヴェルデ)
9日(木)	正副代表理事会 (15:00 同友会事務局&ZOOM)
15日(水)	第51回県定時総会 (14:00 グランシップ静岡)



《 あなたのスケジュールノートに  
必要事項をご記入ください 》

同友会オリエンテーション【パートⅢ】

同友会を使い倒そう！～そうだ。そんな時、同友会があるじゃないか～

同友会の学びが私を変えた！

3月18日(月) 14:00～16:00 参加：20名 同友会会議室&ZOOM

新会員や入会を検討している方に向けて開催しているオリエンテーション。パートⅢは「同友会での学びが、私を変えた。視点が変わり、みる世界が変わった」をテーマに寺田亜記子氏（株）ニューウェーブ A-style 取締役／志太支部）が報告。事業転換のタイミングで経営に携わり順調に進んでいた中、社員が増えたことによりうまくまとめることができず悩む日々が続きます。不安の中、同友会に所属していた夫に誘われ、学ぶしかないと思い同友会に入会。志太支部の「経営指針を創る会」の受講したことで、社員とのコミュニケーションができていなかったことに気づき、うまくいかなかった原因が見えてきます。「立場が違おうと溝ができる。理念があれば溝を埋めることができる」という会員からの言葉で経営指針は社員と同じ方向を見るために腑に落ち、価値観やビジョンを明確にできたと話しました。グループ討論では、新会員やゲストも交え、経営指針の大切さを改めて再認識するとともに、社員との関わり方について学びあう場となりました。



和やかな雰囲気で行われたグループ討論

訃報

3月に静岡同友会会員の望月一夫氏（南袖師の望月鐵工 静岡支部所属）がご逝去されました  
謹んでご冥福をお祈りいたします